

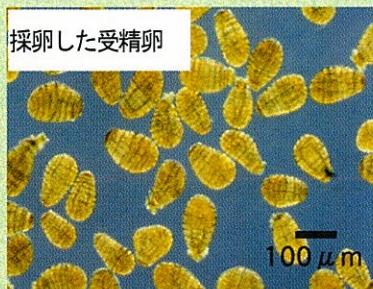
砂浜域碎波帯の藻場造成

研究会 海洋環境保全技術開発

種 目 岩礁性藻場造成技術の開発

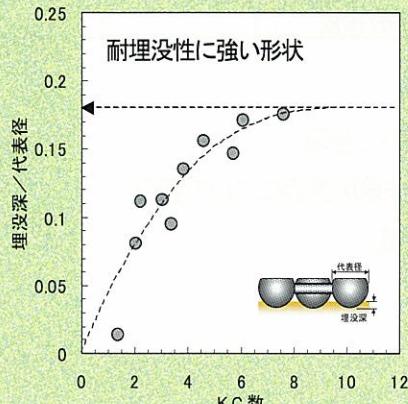
北海道江差町茂次郎浜を実験サイトとして、砂浜域碎波帯に岩礁性藻場を造成するための技術開発をおこなった。

フシスジモクの種苗生産技術の開発



3球ブロックの開発

- 耐洗堀埋没機能を有する低天端施設のコンセプト
 - ・耐洗堀埋没に強い形状
 - ・耐波・流れに有利な形状
 - ・低比重の材質(石炭灰)
 - ・安価な材質(石炭灰)
 - ・ホンダワラに有利な平坦面
 - ・簡易な種苗移植



縦スリット型藻礁の開発



事業概要

● 事業の背景および目的

沿岸の岩礁域に生活の基盤を置く海藻群落は、ウニ・アワビ・サザエの生息場、魚類の産卵場、幼期の生育場を形成し、また、波や強い潮流により切れて「流れ藻」となり多くの魚介類に利用され、生態系の中で重要な役割を果たしている。しかし、藻場は急速に減少しつつあり、現在漁場として未利用な砂浜域を含め沿岸域における効率的な岩礁性藻場の造成技術開発が必要である。

本事業では、岩礁性藻場を構成する主要な種であるホンダワラ類及びコンブ類について効率的かつ確実に造成するための技術を開発した。

● 事業実施期間および内容 平成13年度～15年度

事業内容/年度	平成13年度	14年度	15年度
現地生物分布および物理環境調査	←	→	
流れ藻捕捉装置付きブロックの開発・改良・設置	↔	↔	
ブロックの効果調査	←		→
試験施設周辺漁場のウニ類生態及び餌料海藻類実態調査		←	→
経済性等の評価		←	↔

● 主な成果

◎ホンダワラ(フシスジモク)

- 種苗生産技術を開発(卵の大量採集・付着条件の解明、海域移植のための安定培養条件の解明)
- 生産種苗の施設への効率的移植技術を開発(基質移植手法、移植海域選定条件)
- 安価で広範囲を造成可能な施設を開発(3球ブロック)

◎ホソメコンブ

- 効率的な再生産が可能な基質を開発(遊走子の付着に有利な基質条件、自動更新基質)
- 対象資源の投資性を満足する施設を開発(縦スリット型藻礁)

● 実施会員および協力機関

種目参加会員 パブリックコンサルタント㈱、㈱エコニクス、サカイオーベックス㈱、太平洋セメント㈱、東亜建設工業㈱、㈱間組社団法人

種目参画会員 社団法人水産土木建設技術センター、岩手県漁業協同組合連合会、長崎県漁業協同組合連合会、北海道、青森県、千葉県、神奈川県、福井県、愛知県、三重県、大阪府、鳥取県、島根県、香川県、徳島県、愛媛県、高知県、福岡県、長崎県、沖縄県、長崎市、近畿大学協力機関 北海道立函館水産試験場

種目協力機関 北海道中央水産試験場、北海道立函館水産試験場、北海道檜山支庁、北海道檜山支庁檜山南部地区水産技術普及指導所、江差町、ひやま漁業協同組合